

# 3歳未満児の食育指導に貢献

## 県食育推進貢献表彰を受賞

最近、食育が重視されていることから、食育を意識した様々な実践を重ねる保育園（所）が増えています。

遠野市の遠野保育園（佐々木昭子園長）では、約20年前から3歳未満児の発達に応じて離乳食を提供し、保護者アンケートに基づく助言などの食育指導を続けています。

その模範となる実践的な活動が評価され、平成25年度の県食育推進県民大会（県、県食育推進ネットワーク会議主催）で、食育推進貢献者として表彰されました。

## 家庭と一体となって「離乳食」を提供

3歳児未満の食育指導の実践は平成6年から。今では毎年、給食計画及び食育計画の参考とするために「保護者アンケート（24項目）」を実施。家庭の食生活の様子や食のリズム、アレルギーや偏食などを把握し



0歳児への給食の様子



給食当番の園児



今日の献立

たうえで、年児別の計画を策定しています。

計画は3歳児未満と3歳児以上に分け、3期ごとに「ねらい」「調理上の配慮」「食事上の配慮」を決め、評価や改善にも取り組んでいます。なかでも0歳児には家庭と同じ離乳食に近づけるために保護者と連携を密にし、一人ひとりの子どもに合わせて提供しています。

現在、離乳食の提供は17名ほどですが、離乳食前期（5か月くらい）から完了期（6か月〜12か月）までは、おも湯・すりつぶしおかゆ・野菜ペーストなど、その子どもの成長に応じて食品数を増やし、注意深く給食を進めています。保護者にはその日の健康状態や食事状況を報告。その際、助言指導にも当たっています。

なお、3歳未満児は完全給食（ごはん・汁物・おかず）ですが、3歳

以上児は副食給食（汁物・おかずを提供。お弁当箱にごはんを詰め、箸を持参）です。こちらも「園では好き嫌がなく食べているのに家では食べません。どうしたらいいでしょう」などといった、偏食などの助言指導にも応じています。

一方、食物アレルギーについては一人ひとりの状態に応じるため、調理室、職員室、各園児室に「アレルギー対応ボード」を掲示し、栄養士と職員が専門性を生かして対応しています。現在、アレルギー対応の園児は1名ですが、例えばお友達と一緒にハンバーグを食べられない子どもには、栄養士が素材の違う同じカタチのものを工夫して提供します。

## 「保育参加日」「試食会」で食育推進

25年度の食育目標には『野菜大好き！とおのっこ』を掲げました。

「食事に必要な基本的な態度や習

## 遠野保育園の食育の実践

保育目標に「心豊かに、たくましく生きる子どもを育む〜ちっちゃくたって大きな夢・ちっちゃくたって大きな愛〜」を掲げています。

給食計画の重点目標には▽家庭との協調（連携・支援）▽保護者の就労と育児の両立支援▽休日・一時・延長保育事業▽保育参加日（栄養士のミニ栄養講座）▽毎日の献立表の掲示▽試食会（離乳食・幼児食）▽給食だよりの発行などです。食育の実践は保護者と協調して進めています。

園児数は、0歳児17名、1歳児21名、2歳児19名、3歳児22名、4歳児24名、5歳児23名。



慣を身につける」「野菜作りを通して栽培物の成長に興味や関心を持つ」「野菜作りを通して栽培・収穫・クッキングを楽しみ、すべての命を大切に作る心を持つ」の3つが目標です。

食に関する関心、正しい知識、習

ちっちゃくたって大きな夢・ちっちゃくたって大きな愛



佐藤一江 栄養士



菊池映子 副主任



藤川厚子 主任



佐々木昭子 園長



0歳児の給食の様子(左)と調理室(右下)

**開かれ頼れる保育園に**

佐々木昭子 園長

園では乳幼児期にふさわしい生活を展開するために、園児一人ひとりに配慮した食育指導を大切にしています。子どもは食べることに大きな関心と期待を持っており、食育が園児に及ぼす影響は大きいものがあります。受賞は先輩方が積み重ねてきた実践の成果と嬉しく思っています。家庭との連携を大切にしながら、開かれ頼れる保育園を目指しています。

**食育の大切さを発信**

藤川 厚子 主任 保育士

平成6年から産休明け保育として、家庭への離乳食指導が始まりました。約20年の実践的な活動が評価されたことで、一層食育の大切さを地域にも発信し、家庭の手助けとなる保育実践に取り組みたいと思っています。

**定着した「職員給食」**

菊池 映子 副主任

食事は元気のバロメーターです。食事を楽しむ子どもにも成長するよう、また乳幼児期にふさわしい食生活ができるよう、保護者と気兼ねない関係を築いています。職員の笑顔が、子どもたちの楽しい給食につながります。園児と同じ給食を頂く「職員給食」も定着しています。

**食への関心を膨らませる**

佐藤 一江 栄養士

小さな畑で栽培した野菜に感謝し、五感を高めようと、「食育クッキング」などで食への関心を膨らませています。食事指導(3歳児〜5歳児)の時間には姿勢、マナー、旬の食べ物、朝食の大切さなどで食への力を養っています。玄米先には保護者にも分かるよう栄養含有量を示した「今日の献立コーナー」を設けています。

慣などを身につけさせながら、好き嫌いのない子どもに育てています。また、保護者には「保育参加日」に栄養士がミニ栄養講座で家庭の食育をテーマに講話したり、「試食会」で離乳食や幼児食を提供したりしながら、家庭と一体となった食育推進に取り組んでいます。職員の資質向上のためには、法人が市内10か所で運営するそれぞれの栄養士グループの研修のほか、乳児グループの研修などで情報を交換し、食育実践に取り組んでいます。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

**ボランティア活動保険**

Aプランは、死亡1,200万円、入院6,500円、通院4,000円、賠償責任5億円(限度額)を補償

全国180万人加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索



**特徴は**

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償!
- 熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償!
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償!
- 地震など天災によるケガも補償(天災タイプご加入の場合)

**ボランティア行事用保険**

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

**福祉サービス総合補償**

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

**送迎サービス補償**

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

年間	基本タイプ	Aプラン	…	300円	Bプラン	…	450円
保険料	天災タイプ	Aプラン	…	460円	Bプラン	…	690円

※各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、最寄りの社協にお問い合わせください。

お申込み、お問合せは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者

社会福祉法人  
**全国社会福祉協議会**

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店

**株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763  
受付時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)  
(引受幹事保険会社) 日本興亜損害保険株式会社